

2021年度（令和3年度）事業報告書

（2021年4月1日～2022年3月31日）

公益社団法人 Sumita Scholarship Foundation, Cambodia

I. 2021年度（令和3年度）の重点事項の成果

公益社団法人 Sumita Scholarship Foundation, Cambodia（以下 SSFC）は平成30年3月8日に公益認定を取得し、一般社団法人から公益社団法人に移行し（平成29年4月19日に一般社団法人として設立）、本年度は、設立5年目に当たる。2020年2月からのコロナ禍により当法人の活動は大きく制約を受けた。就学支援は、現地のカンボジア代表と連絡を取合い通常の支援活動が行えたが、教育環境の改善支援については現地に行くことができず行えなかった。

1. 就学支援事業（奨学金給付）

シェムリアップ州バクコン郡のアラン・ランサイ中学校とスレイ・ビボケイ中学校の2校で行った。奨学金給付生徒は両校合わせて33人、に支援した。全員が貧しくまた、コロナ禍でさらに生活が厳しいので大変喜ばれた。

2. 教育環境の改善支援

本年は、コロナ禍のため現地での支援活動は行えなかった。

3. 広報・募金活動

日本国内における支援者募集も、カンボジアでの支援活動の実際をパンフレットやホームページ・インターネット、Facebook、「**に**よにゆむ通信」等で報告し、宣伝活動をした。

Ⅱ. 2021年度（令和3年度）カンボジア教育支援活動の内容

1. 就学支援事業

カンボジアでは中学3年までが義務教育であるが、地方の州では中学3年で卒業できる生徒は、中学1年時入学生徒の半数に減ってしまう（故住田の18年間の調査結果）。その原因の第一は貧困であり、「貧困のために中途退学をして、働かざるを得ない現状」がある。

退学する生徒の中には、成績もよく能力もあり、勉学意欲がある生徒も少なくない。そのような生徒に就学支援をした。

(1) 奨学金の給付条件等

① 奨学金の給付対象中学生・高校生の条件

- 成績優秀かつ真面目で人柄が良く、ただ貧困のために中途退学せざるを得ない生徒
- 中間・期末試験の成績が各学級で5番以内、又はそれに準ずる生徒
- 欠席日数が少ないこと。怠けによる欠席が無いこと。
- エイズや結核・肝炎など長期治療を要する病気を持っておらず、心身ともに健康であること
- 上記の条件を満たし、校長・担任教師が推薦した生徒

② 奨学金給付を受ける生徒の学年と給付期間

- 原則として中学2年生以上高校3年生までを支援する。必要に応じて中学1年生も支援する。
- 給付期間は、1年毎にSSFCの理事会で審査し更新する。原則として高校3年生まで支援する。

③ 奨学金給付の中止。中止の決定は家庭環境を調査の結果SSFC理事会で決定する。

- 給付生徒の家庭の収入が多くなり、3回の食事や学費に困らなくなった時
- 給付生徒が学習に意欲をなくし、成績が著しく悪くなった時
- 給付生徒が退学した時

④ 奨学金給付内容（物品を含む）

中学生・高校生の1年間の給付内容

■ 物品の給付

- 制服上着2着スカート・ズボン1着
- 鞄1個（必要に応じて）
- 運動靴1足
- ノート（200P）20冊（中学生15冊）
- ボールペン青10本、赤3本
- マーカー2組
- その他必要文房具
- 米15Kg/月×12ヶ月=180Kg

■ 支援開始時

- 自転車1台（必要に応じて）
- その他必要な物品

■ お金の給付

- 補習代 $6\$ / 1 \text{ 教科} \times 5 \text{ 教科} \times 10 \text{ 月} = 300\$$
- 教科書代 40\$
- 生活費 $10\$ \times 10 \text{ ヶ月} = 100\$$ （授業のある10ヶ月支給する）

1年間1人当たりの必要金額概算

- 中学生：\$665
- 高校生：\$788

(2) 奨学金の給付状況等

① 2021年度の新奨学生等について

2021年7月3日に理事会を開催し、新しい奨学生を選考した。

アラン・ランサイ中学校には該当者がいなかった。

スレイ・ビボケイ中学校は13人の生徒を選考した。

■ 選考の手順

- イ) 事前に、スレイ・ビボケイ中学校のブンコン校長が、貧しい生徒たちの家庭訪問を行い、奨学生調査票を作成し、本人、家族、家の全体、家の中等の写真を撮った。

■ スレイ・ビボケイ中学校

第1期生

1. スーン・ダム (高校1年・男16才)
2. ピー・スレイ・トウ (高校1年・女15才)
3. ケッ・ヌーン (高校1年・女18才)
4. コン・カム (高校2年・女14才)
5. ウーン・ソペア (高校2年・女18才)
6. コン・サイ (高校2年・女17才)
7. ジェット・ピー (高校3年・男21才)
8. リー・ソック (高校3年・女18才)

第2期生

9. チン・チャット (高校1年・男16才)
10. ヘイン・カイ (高校1年・女14才)
11. ヘイン・ティーハー (高校1年・男15才)
12. コン・キン (高校1年・男15才)
13. ソット・カウン (高校1年・女16才)
14. チョム・チャ (高校1年・男20才)
15. ティエ・スマイ・パンニャー (高校1年・男16才、転校10月)
16. チョング・チャム (高校2年・男19才)
17. ロン・チョン (高校2年・女18才)

第3期生

18. コイ・チャニー (中学2年・女14才)
19. チェット・ボラー (中学2年生・男14才)
20. ドッ・サメ (中学2年・女15才)
21. プレム・リナ (高校1年・女17才)
22. チェア・ソチェット (中学2年・男15才)
23. ボック・スレイマオ (中学3年・女17才)
24. トーン・シーブ (中学3年・女17才)
25. ロ・オウン (中学3年・女17才)
26. ボルング・スレイネッ (中学3年・女15才)
27. ソン・リッ (中学3年・男16才)
28. セム・ソペアン (中学2年・女14才)
29. チ・シナ (高校2年・女18才)
30. ティ・ナ (高校1年・女15才)

2. 教育環境の改善支援

本年は、コロナ禍のため現地での支援活動は行えなかった。

3. 広報・募金活動

今までの公報活動のパンフレットやホームページ・インターネット、「に
よにゅむ通信」の発行に加え、2021年1月からFacebookでの活動の報
告を開始した。また、新しく、三つ折りパンフレットを作製した。